



2161

[Handwritten signature]

U-Wp-5562 Akao

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application

New York, New York

Shigehito OBA, et al

February 5, 2001

Serial No.: 09/730,256

Group Art Unit:

Filed: December 5, 2000

Examiner:

For: THANK-YOU GIFT ORDER/DISPATCH SYSTEM

RECEIVED
FEB 15 2001
Technology Center 2100

Hon. Commissioner of Patents and Trademarks
Washington D.C. 20231

LETTER

Sir:

Attached is the Certified Copy of the basic Japanese Application relied upon by Applicants to perfect the claim for convention priority under 35 U.S.C. 119.

Application No:

Filing Date:

242059/2000

August 10, 2000

Would you kindly acknowledge receipt of the above-identified document in the first Office Action.

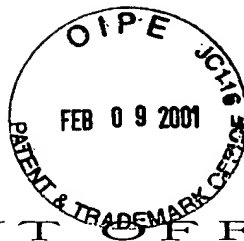
Respectfully submitted,

BURGESS, RYAN AND WAYNE

[Handwritten signature]

Milton J. Wayne
Reg. No. 17,906
370 Lexington Avenue
New York, New York 10017

MJW/kt
Attachments



PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this office.

Date of Application : August 10, 2000

Application Number : Patent Application No.242059/2000

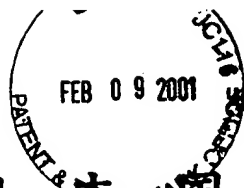
Applicant(s) : Hiroshi Arai
Shigehito Oba

RECEIVED
FEB 15 2001
Technology Center 2100

January 5, 2001

Commissioner,
Patent Office O i k a w a K o z o

Certification Number :
Patent No.3102471/2000



日本国特許庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日

Date of Application:

2000年 8月10日

出願番号

Application Number:

特願2000-242059

出願人

Applicant (s):

荒井 博
大場 茂人

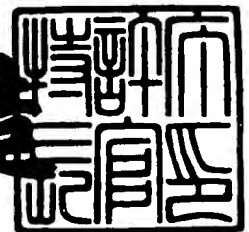
RECEIVED
FEB 15 2001
Technology Center 2100

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 1月 5日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3102471

【書類名】 特許願

【整理番号】 P12-11

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都新宿区西新宿 7 - 1 6 - 1 4 西新宿第 3 太平ビル
 3 階 株式会社専通クリエート内

 【氏名】 大場 茂人

【特許出願人】

 【住所又は居所】 東京都新宿区西新宿 7 - 1 6 - 1 4 西新宿第 3 太平ビル
 3 階

 【氏名又は名称】 株式会社専通クリエート

 【代表者】 荒井 博

【代理人】

 【識別番号】 100084696

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 赤尾 直人

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 054313

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書
 【発明の名称】 引き物の注文及び配送システム
 【特許請求の範囲】

【請求項1】

式、催物などに出席した顧客に対し、引き物を掲載した書籍を交付し、当該顧客は、選択された引き物の名称、又は番号を式場、催物場経営業者を介して引き物場管理業者に通知するか、又は直接引き物情報管理業者に通知し、当該引き物情報管理業者においては、前記選択された引き物の名称又は番号に基づき、引き物発送業者に指令して、顧客に対し選択された引き物を発送するシステムにおいて、引き物情報管理業者は、予め、各顧客につき、少なくとも住所、氏名による情報をコンピューターメモリに記録させておくと共に、所定の期間を経過したにも拘らず、選択した引き物の名称又は番号の通信を行わない顧客が存在する場合には、コンピューターの出力信号に基づいて、当該顧客に対し、引き物を受領する意志の有無、及び受領する予定の場合における選択された引き物の名称又は番号を照会することを特徴とする引き物の注文及び配送システム。

【請求項2】

式、催物などに出席した顧客に対し、引き物を掲載した書籍を交付し、当該顧客は、選択された引き物の名称、又は番号を式場、催物場経営業者を介して引き物場管理業者に通知するか、又は直接引き物情報管理業者に通知し、当該引き物情報管理業者においては、前記選択された引き物の名称又は番号に基づき、引き物発送業者に指令して、顧客に対し選択された引き物を発送するシステムにおいて、引き物情報管理業者は、予め、各顧客につき、少なくとも住所、氏名による情報をコンピューターメモリに記録させておくと共に、所定の期間を経過したにも拘らず、選択した引き物の名称又は番号の通信を行わない顧客が存在する場合には、コンピューターの出力信号に基づいて、引き物情報管理業者において選択した引き物を、当該顧客に対し、発送することを特徴とする引き物の注文及び配送システム。

【請求項3】

照会が行われてから、更に一定期間内に当該顧客からの回答が送達されない場

合には、引き物情報管理業者において、当該顧客に対する事務処理を終了することを特徴とする請求項 1 記載の引き物の注文及び配送システム。

【請求項 4】

引き物情報管理業者が選択した引き物を、発送業者を介して発送が行われてから、更に一定期間内に、当該顧客から何らの応答がない場合には、引き物情報管理業者において、当該顧客に対する事務処理を終了することを特徴とする請求項 2 記載の引き物の注文及び配送システム。

【請求項 5】

交付する書籍は、引き物について設定した価格又は価格の範囲毎に異なることを特徴とする、請求項 1、2 記載の引き物の注文及び配送システム。

【請求項 6】

引き物発送者が、地域によって区分されていることを特徴とする、請求項 1、2 記載の引き物の注文及び配送システム。

【請求項 7】

引き物発送者が、引き物の種類によってそれぞれ相違することを特徴とする、請求項 1、2 記載の引き物の注文及び配送システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、結婚式、葬式などの式、及び祭事、その他の催物における引き物の注文及び送達を行うためのシステムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来引き物は、式、催物の主催者が式場又は催物場経営業者と相談のうえ、予め特定し、出席者に交付していた。

【0003】

このような従来の方法では、出席者の意向如何に拘らず、引き物が特定されることに帰する。

【0004】

しかしながら、このような方法では少なからぬ出席者に対して、不本意な引き物が交付される可能性があり、このような場合には、引き物としての趣旨が十分に発揮されることにはならない。

【 0 0 0 5 】

近年、引き物を直接交付するのではなく、引き物を記載したパンフレットなどの書籍を出席者たる顧客に交付し、当該顧客においては、当該書籍から引き物を選択したうえで、当該書籍と共に交付された返信葉書などによって、式場又は催物場経営者を介して、又は直接引き物情報管理業者に選択した引き物を送らせるシステムが実現されつつある。

【 0 0 0 6 】

このようなシステムは、直接引き物を引き渡す方式に比し、出席者たる顧客に引き物を選択させるという点において優れているが、書籍を持ち帰った顧客が、一定の期間を経過するも、引き物の選択及びこれに基づく葉書などによる通信を行わない場合に引き物を引き渡すことができないという、基本的な問題点を発生するに至っている。

【 0 0 0 7 】

【発明が解決しようとする課題】

本発明は、従来技術の前記のような欠点を克服し、出席者たる顧客が選択した引き物を発送することが可能であるとともに、所定の期間を経過しても、選択した引き物に関する通信を行わない顧客に対しても、更なるアクションを可能とする、引き物の注文及び発送システムを提供することを開発するものである

【 0 0 0 8 】

【課題を解決するための手段】

前記の課題を解決するため、本願発明の構成は、

(1) 式、催物などに出席した顧客に対し、引き物を掲載した書籍を交付し、当該顧客は、選択された引き物の名称、又は番号を式場、催物場経営者を介して引き物場管理業者に通知するか、又は直接引き物情報管理業者に通知し、当該引き物情報管理業者においては、前記選択された引き物の名称又は番号に基づき、引き物発送業者に指令して、顧客に対し選択された引き物を発送するシステムに

において、引き物情報管理業者は、予め、各顧客につき、少なくとも住所、氏名による情報をコンピューターメモリに記録させておくと共に、所定の期間を経過したにも拘らず、選択した引き物の名称又は番号の通信を行わない顧客が存在する場合には、コンピューターの出力信号に基づいて、当該顧客に対し、引き物を受領する意志の有無、及び受領する予定の場合における選択された引き物の名称又は番号を照会することを特徴とする引き物の注文及び配送システム、

(2) 式、催物などに出席した顧客に対し、引き物を掲載した書籍を交付し、当該顧客は、選択された引き物の名称、又は番号を式場、催物場経営業者を介して引き物場管理業者に通知するか、又は直接引き物情報管理業者に通知し、当該引き物情報管理業者においては、前記選択された引き物の名称又は番号に基づき、引き物発送業者に指令して、顧客に対し選択された引き物を発送するシステムにおいて、引き物情報管理業者は、予め、各顧客につき、少なくとも住所、氏名による情報をコンピューターメモリに記録させておくと共に、所定の期間を経過したにも拘らず、選択した引き物の名称又は番号の通信を行わない顧客が存在する場合には、コンピューターの出力信号に基づいて、引き物情報管理業者において選択した引き物を、当該顧客に対し、発送することを特徴とする引き物の注文及び配送システム、

からなる。

【 0 0 0 9 】

【発明の実施の形態】

前記(1)、(2)は何れも図面3に示すように、参加者である顧客に対し、引き物を掲載している書籍を交付し、これに基づいて、当該顧客が当該書籍に基づいて選択した引き物の名称、又は番号を引き物情報管理業者に通信し、当該通信に基づき、引き物情報管理業者が、引き物発送業者を介して顧客に対し引き物の発送を行うというシステムに立脚しており、この点では従来のシステムと共通している。

【 0 0 1 0 】

但し、本発明では、顧客に関し、少なくとも住所、氏名に関する情報を、式、催物主催者、又は式場、催物場経営者等を介して予め入手し、当該入手した情報

をコンピューターメモリに記憶させ、かつ当該顧客が所定期間内に前記通信を行わない場合には、当該顧客に対し、コンピューター出力に基づいて、

(1) のシステムでは、当該顧客に対し引き物の選択及びこれに基づく通信を行うか否かの照会を行っており、

(2) のシステムでは、引き物情報管理業者において、既に選択した引き物を、引き物発送業者を介して発送しており、

本件発明は、これらの事項を基本構成としている。

【 0 0 1 1 】

前記基本構成において所定の期間につき、催物が行われた日を基準として、一定の日数を設定する場合が多いが、当該所定期間による日数は、必然的にコンピューターメモリに記録されており、記録された顧客につき、必要に応じて所定の期間が経過したか否かの判断が行われることになる。

【 0 0 1 2 】

このような(1)、(2)の基本構成によって、参加者である顧客が引き物を選択しないことによる弊害を克服することができる。

【 0 0 1 3 】

尚、前記の基本構成において、顧客が選択した引き物の名称又は番号を通信する方式は、従来技術のような葉書だけでなく、ファクシミリ、電話、E-mailなどの諸々の通信方法を採用することが可能である。

【 0 0 1 4 】

(1) のシステムにおけるコンピューターの判断に関するフローチャートは、別紙図1に示す通りであり、(2) のシステムにおけるコンピューターの判断に関するフローチャートは別紙図2に示す通りである。

【 0 0 1 5 】

そして(1) のシステムにおいて、照会の結果、選択及び通信を行わなかった顧客が、引き物を不要とする回答を行うか、更には照会に対し、更に一定期間を経過しても回答を行わない場合には、当該顧客に対する事務処理を中止し、逆に当該顧客が、照会に対し選択した引き物の名称又は番号の通信を行った場合には、改めて引き物発送業者を介して選択された引き物を発送することになる(尚、

前記の照会が郵便などによって行われた場合には、前記の「一定期間」について照会状を発送した日、又は照会状が送達された日の何れかを基準として「一定期間」と設定すると良い。）。。

【 0 0 1 6 】

これに対し（２）のシステムでは、（１）の場合のように照会をせずに、引き物情報管理業者が自ら選択した引き物を、発送業者を介して顧客に発送し、顧客の反応を待つことに帰する。

【 0 0 1 7 】

そして、顧客が更に一定期間内に格別の通信を行ってこない場合には、当該顧客に対する事務処理を中止し、逆に当該顧客が当該一定期間内に発送された引き物が自らの意向と相違し、自ら希望する引き物の通信を行った場合には、既に発送した引き物と引き換えに、改めて選択された引き物を、引き物発送業者を介して発送することができる（尚、前記引き物を発送した日、又は引き物が当該顧客に送達された日の何れかを基準として「一定期間」と設定すると良い。）。。

【 0 0 1 8 】

前記のように、顧客に関する最低限の情報は、住所、氏名であるが、これ以外に顧客の嗜好、性格等が判明している場合には、これらの情報をも記録させておくならば、（２）のシステムにおいて、引き物情報管理業者が、自ら引き物を選択する場合に、参考資料となり得ることが多い。

【 0 0 1 9 】

尚、（１）及び（２）の各システムにおいて、式、催物主催者、又は式場、催物場経営業者から引き物情報管理業者に対し、各顧客に対応した引き物代金が支払われ、更に引き物情報管理業者から引き物発送業者に対し、発送する引き物に対応した代金の支払いを行うと良い。

【 0 0 2 0 】

以下、前記（１）及び（２）の各システムに共通する実施例に即して説明する。

【 0 0 2 1 】

【実施例 1】

引き物は、式又は催物参加者が持参した金員に対応して送られることが多い。

【 0 0 2 2 】

このような場合、主催者側において、持参した金額とは無関係に引き物を選択させたのでは公平を失することになる。

【 0 0 2 3 】

実施例 1 では、このような点に着目し、主催者側において参加者たる顧客が持参した金額を考慮し、引き物を掲載した書籍を金額、又は金額の範囲によって区分している点を特徴としている。

【 0 0 2 4 】

例えば、書籍 A は 7 5 0 0 円の引き物、又は 5 0 0 0 円～1 0 0 0 0 円未満の引き物を掲載し、書籍 B は 1 2 5 0 0 円の引き物、又は 1 0 0 0 0 円以上～1 5 0 0 0 円未満の引き物を掲載し、書籍 C は 1 7 5 0 0 円の引き物、又は 1 5 0 0 0 円以上～2 0 0 0 0 円未満の引き物を掲載して、持参した金額に対応させたいで、顧客に交付する書籍を選択する訳である。

【 0 0 2 5 】

このような選択によって、顧客が持参した金額に概略対応するような金額の引き物を引き渡すことができる。

【 0 0 2 6 】

【実施例 2】

参加する顧客が全国に分散する場合と、特定の地方に限定する場合、又はその中間の何れかが想定されるが、何れの場合においても引き物情報管理業者は、特定の地域に存在しているに過ぎない。

【 0 0 2 7 】

実施例 2 では、引き物発送業者を全国によって区分して存在させることによって（例えば、北海道地区、東北地区、関東地区、中部地区、関西地区、北陸地区、四国地区、九州地区）、顧客の所在場所に対応した発送業者によって引き物を発送することができる。

【 0 0 2 8 】

このような引き物発送業者を全国に区分させた状態にて併存させることによっ

て、引き物の運送賃を節約することができる。

【 0 0 2 9 】

【実施例 3】

一般に引き物は、衣服、食料品、家財道具、身回品など、多岐多種類に亘ることが多い。

【 0 0 3 0 】

他方、引き物発送業者はメーカー又は卸問屋を兼業している場合があり、この様な業者の場合には、大抵の場合自ら扱う商品が専門化しており、多種に亘る引き物を揃えている訳ではない。

【 0 0 3 1 】

実施例 3 では、引き物の種類に対応して、発送業者を併存させている。

【 0 0 3 2 】

即ち、被服類は発送業者 A、家財道具は発送業者 B、食料品は発送業者 C、身回品は発送業者 D と、それぞれ対応させ、引き物情報管理業者からの指令に基づいて、それぞれ対応する引き物をコンピューターの指令に基づいて顧客に対し発送することになる。

【 0 0 3 3 】

【発明の効果】

以上のような本発明のシステムでは、参加した顧客は引き物について自ら選択することが可能であるとともに、所定期間を経過した段階において引き物の選択及びこれに基づく通信を行わない顧客に対しては、更なる照会又は引き物情報管理業者自身の選択による引き物の発送によって、事務処理を解決することが可能である。

【 0 0 3 4 】

このような場合、本発明によるシステムは、引き物の引渡において、従来の欠陥を克服した画期的なシステムであり、その価値は絶大である。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

(1) のシステムにおいて、コンピューターの判断過程を示すフローチャート

【図 2】

（２）のシステムにおいて、コンピューターの判断過程を示すフローチャート

【図 3】

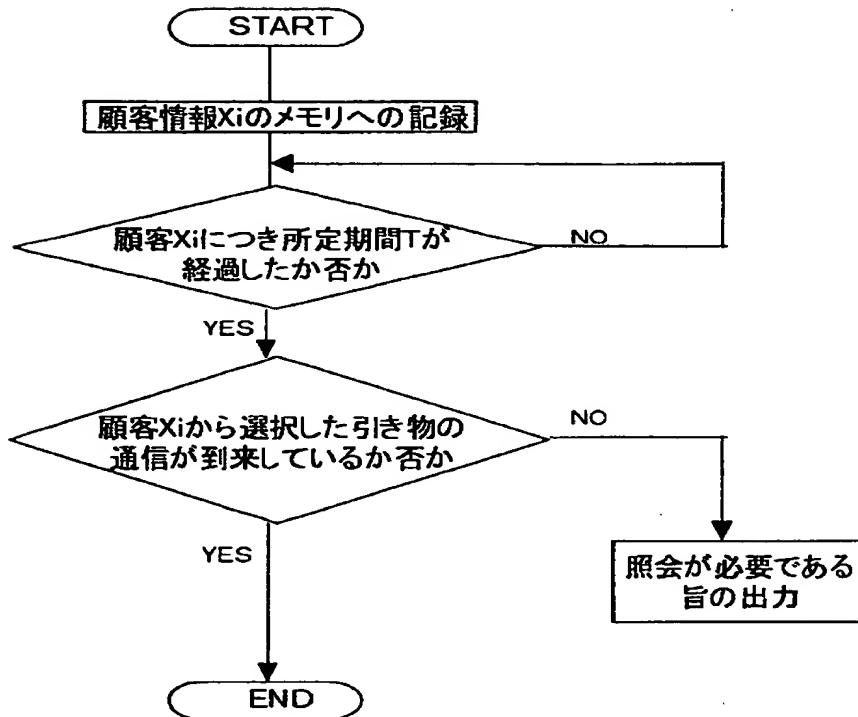
前記（１）、（２）の全体概要を示すブロック図。

【符号の説明】

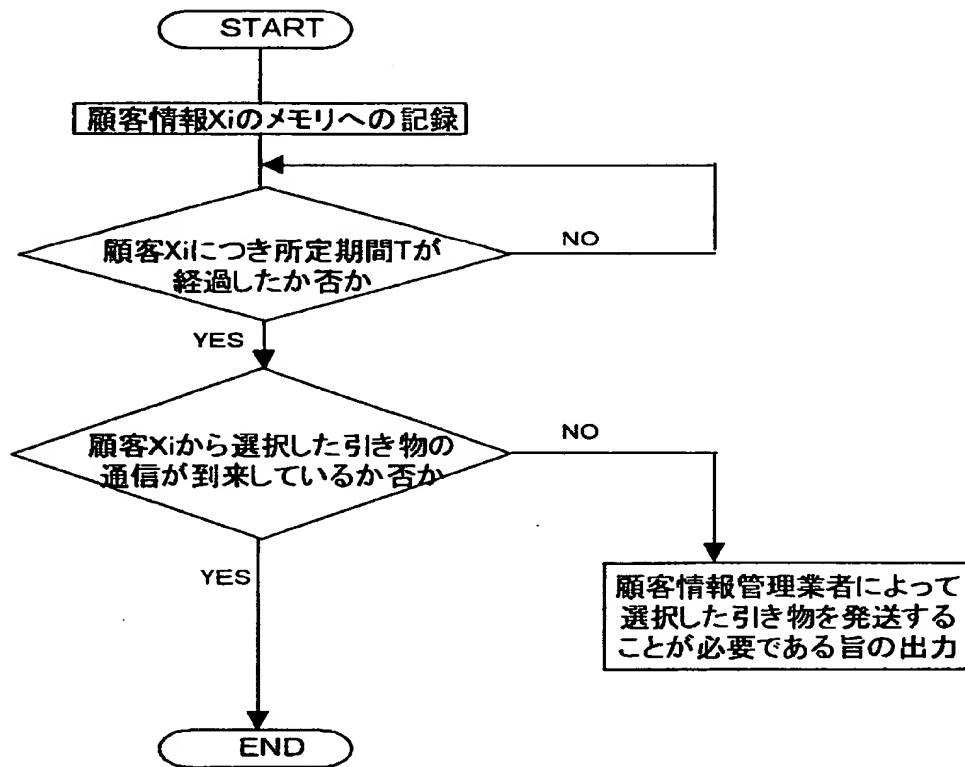
- 1 引き物を掲載した書簡の交付
- 2 選択した引き物の通信
- 3 選択された引き物の発送指令
- 4 引き物の発送

【書類名】 図面

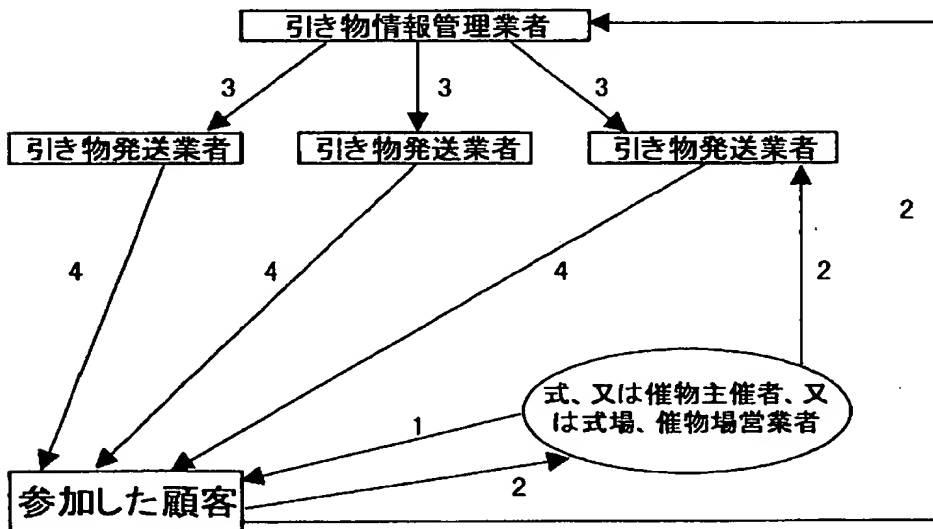
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【目的】 式、催物に参加した顧客が引き物の選択を行うことが可能であるとともに、所定の期間を経ても引き物の選択及びこれに基づく通信を行わない顧客に対しても、一定のアクションを行い、更なる事務上の処理を可能とする引き物の注文及び発送システムを提供することを目的とする

【構成】 式、催物などに出席した顧客に対し、引き物を掲載した書籍を交付し、当該顧客は、選択された引き物の名称、又は番号を式場、催物場経営者を介して引き物場管理業者に通知するか、又は直接引き物情報管理業者に通知し、当該引き物情報管理業者においては、前記選択された引き物の名称又は番号に基づき、引き物発送業者に指令して、顧客に対し選択された引き物を発送するシステムにおいて、引き物情報管理業者は、予め、各顧客につき、少なくとも住所、氏名による情報をコンピューターメモリに記録させておくと共に、所定の期間を経過したにも拘らず、選択した引き物の名称又は番号の通信を行わない顧客が存在する場合には、コンピューターの出力信号に基づいて、当該顧客に対し、引き物を受領する意志の有無、及び受領する予定の場合における選択された引き物の名称又は番号を照会するか、又は、引き物情報管理業者において選択した引き物を、当該顧客に対し発送することによって、所定期間内に回答を行わない顧客に対するアクションが実現可能である引き物の注文及び配送システム。

【選択図】 図1及び図2

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-242059
受付番号	50001020008
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成12年 8月15日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成12年 8月10日
-------	-------------

【書類名】 出願人名義変更届

【あて先】 特許庁長官殿

【事件の表示】

【出願番号】 特願2000-242059

【承継人】

【住所又は居所】 東京都中野区本町 1 - 1 5 - 2 2
パークハイム中野坂上 6 0 1

【氏名又は名称】 荒 井 博

【承継人】

【住所又は居所】 栃木県芳賀郡益子町益子 1 7 0 5

【氏名又は名称】 大 場 茂 人

【承継人代理人】

【識別番号】 100084696

【弁理士】

【氏名又は名称】 赤尾 直人

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 054313

【納付金額】 4,200円

【プルーフの要否】 要

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-242059
受付番号	50001238554
書類名	出願人名義変更届
担当官	濱谷 よし子 1614
作成日	平成12年11月 9日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成12年 9月26日
【承継人】	
【識別番号】	500448506
【住所又は居所】	東京都中野区本町1-15-22 パークハイム 中野坂上601
【氏名又は名称】	荒井 博
【承継人】	
【識別番号】	500448517
【住所又は居所】	栃木県芳賀郡益子町益子1705
【氏名又は名称】	大場 茂人
【承継人代理人】	申請人
【識別番号】	100084696
【住所又は居所】	東京都文京区湯島4丁目8番1-402号 赤尾 法律特許事務所
【氏名又は名称】	赤尾 直人

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500374799]

1. 変更年月日 2000年 8月10日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都新宿区西新宿7-16-14 西新宿第3 太平ビル3 階
氏 名 株式会社専通クリエート

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500448506]

1. 変更年月日 2000年 9月26日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都中野区本町1-15-22 パークハイム中野坂上60
1

氏 名 荒井 博

出願人履歴情報

識別番号 [500448517]

1. 変更年月日 2000年 9月26日
[変更理由] 新規登録
住 所 栃木県芳賀郡益子町益子1705
氏 名 大場 茂人